

「情報公開文書」

研究課題名：胃 X 線検診における結果通知内容が受診率に与える影響について

研究責任者：浅沼 清孝、 宮城県対がん協会がん検診センター

1. 研究の対象

2019 年度から 2022 年度の宮城県における胃 X 線検診で胃内視鏡検診施行地域（仙台・大衡村）を除く全受診者

2. 研究目的・方法

胃がん検診において受診者数の確保は重要であるが、検査に伴う合併症などの不利益は検診機会の増加に伴い増加する。利益と不利益のバランスを適切にとるために Shared Decision Making（共同意思決定：SDM）を活用した情報提供が注目されています。本研究の目的は胃がん検診結果通知書で受診者へ提供した情報が受診率に与えた影響を評価することです。

研究期間：2024 年 1 月 10 日から 12 月 31 日まで

方法：2019 年度から 2022 年度までに宮城県の胃 X 線検診受診者を用いて、2019 年度に受診者へ通知した診断別に以後 3 年間の受診率を比較します。研究・発表に際し、指名等の個人情報はずべて破棄し、研究用 ID を付記して管理し、また対応表は作成しません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2019 年度から 2022 年度までの胃 X 線検診受診者（仙台・大衡村を除く）の年齢、性別、結果通知した診断名

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて受診者さまもしくは受診者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも受診者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県対がん協会現検診センター、電話 022-263-1525

研究責任者 浅沼清孝